

## 海面高度計ミッションの概念検討について Conceptual study on Japanese altimetry mission

植松 明久<sup>1\*</sup>, 海面高度計検討チーム<sup>1</sup>  
UEMATSU, Akihisa<sup>1\*</sup>, The Altimetry mission study team<sup>1</sup>

<sup>1</sup> 宇宙航空研究開発機構

<sup>1</sup>Japan Aerospace Exploration Agency

海面高度の計測は、海洋に関する衛星計測項目として、海水温・海色・海上風速等と同様に重要な情報と位置付けられている。JAXAでは新たな海面高度計ミッションに向けた概念検討を開始した。検討中のミッションでは、2つのアンテナを用いた干渉型合成開口レーダ (InSAR) により、面的な海面高度の観測を実現することを目指す。現在、目標仕様とシステムの実現性について検討を行っている。

主なミッションの目的は4つの分野から構成される。

### 海流予測の高度化

潮汐モデルの高精度化により、沿岸域および縁辺海の4次元同化による海流予測精度の向上を通して、海難事故時の漂流予測や、航行の効率化、及び海中における放射性物質等の拡散予測へ貢献することが目的である。

### 水産

漁場推定に関係があるとされている黒潮フロントや海面のメソスケール・サブメソスケール高度変化などの海洋現象を観測することが目的である。

### 災害対策

遠地で発生した地震により起こる津波形状を把握し、インバージョン解析による津波の到達時間や高さの予測精度向上への貢献が目的である。

### ジオイドと海底地形

ジオイドモデルの向上による海底地形モデルの高度化が目的である。

発表では、最新の検討状況について紹介する。

キーワード: 海面高度計, 海流, 水産, 災害, ジオイド, 干渉型合成開口レーダ

Keywords: altimetry, ocean current, fishery, disaster, geoid, interferometric synthetic aperture radar